

## FAQ(よくある質問)

### ▼そもそも脱Javaって何？

NICTは電子認証ICカードで入札を行う『電子入札システム』の運用を実施しています。その運用に富士通が提供するSaaS(Software as a Service)電子調達システムである「**電子入札(工事)**」「**電子入札(物品・役務)**」を利用しています。

『電子入札システム』はJava(プログラミング言語)ですが、Oracle社が提供する電子調達専用JRE8(Java)のサポート終了に伴い、『電子入札システム』への接続方式が新方式(脱Java)に切り替わることです。

※「電子認証ICカード」は『電子入札システム』での入札に利用するものです。仕様書類をダウンロードする為に発行している8桁の利用者登録IDとパスワードではございません。

### ▼対象のシステムは？

NICTの移行対象『電子入札システム』は「**電子入札(工事)**」「**電子入札(物品・役務)**」です。



※画像はイメージです。カードデザインは認証局によって異なります。

### ▼「入札情報システム」は移行しなくていいの？

「入札情報システム」は移行する必要がありません。



### ▼JavaJRE8のサポートが終了するとどうなるの？

セキュリティ脆弱性などに対応するアップデートパッチは提供されなくなります。

いままでOracleが対応していたバグやセキュリティ修正も対応されません。セキュリティの脆弱性に対応しないと、不正アクセスに利用されたり、ウイルスに感染したりする危険性が高まります。

※脆弱性(ぜいじゃくせい)とは、コンピュータのOSやソフトウェアにおいて、プログラムの不具合や設計上のミスが原因となって発生した情報セキュリティ上の欠陥のこと  
※セキュリティホールは脆弱性と同じ意味で使われています。

### ▼新システムに切替えないとどうなるの？

NICTの『電子入札システム』はご利用できません。なお、当機構以外の法人において、当機構と同様のシステムを利用している場合、利用できない可能性がございます。

▼電子認証ICカードを利用していなければ新システムへの切り替えは必要ないの？

電子認証ICカードを利用していない場合はアプリケーションの取得・インストールは不要です。

▼新システムに切り替える為のアプリケーションはどこで入手するの？

「電子認証 ICカード発行元の民間認証局」になります。

▼電子認証ICカードの発行元ってどこ？

ご利用の電子認証ICカードの裏面に[発行元]が記述されています。

●電子認証ICカードをご利用の方

→ 電子入札コアシステム(新方式)に対応したアプリケーションを取得してインストールしてください。

- ①電子認証ICカードの[発行元]を確認する。
- ②①で確認した[発行元]の民間認証局のホームページ等で確認。

▽認証局一覧はこちら

<http://www.cals.iacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

※アプリケーション取得からインストール完了までのお問合せ先は「各認証局」になりますのでご注意ください。

●電子認証ICカードをご利用でない方

→ アプリケーションの取得・インストールは不要です。

## お問合せ先

お問合せは富士通「電子調達ヘルプデスク」になります。

※NICTではございませんのでご注意ください。

▼電子調達ヘルプデスク

[https://www.ep-bis.supercals.jp/PPIPublish/portal\\_accepter/070\\_contact.html#6\\_2](https://www.ep-bis.supercals.jp/PPIPublish/portal_accepter/070_contact.html#6_2)

名称	電子調達ヘルプデスク
受付時間	平日 9:00~18:00
電話番号	0570-011311
メール	contact-supercals-ep@cs.jp.fujitsu.com

※認証局から取得したアプリケーションについてのお問合せ先は「各認証局」になります。